

横浜市政記者会 発表

2023年4月24日
横浜市立大学

イノベーション創出を推進し 「研究の横浜市立大学」として取組を加速します！

～文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による
産学官連携・共同研究の施設整備事業」に採択決定～

横浜市立大学は、文部科学省の「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に約20億円の事業を申請し、このたび採択が決定しました。（4月21日。公立大学では全国で2校採択）

本事業採択により、産学官共創のインキュベーション施設など研究拠点の整備を進め、「研究の横浜市立大学※」として取組を強力に加速します。

※研究の横浜市立大学：「横浜市立大学中期計画（令和5～10年度）」（地方独立行政法人法により、設立団体の長（横浜市長）が定めた「中期目標」を達成するため、大学法人が策定した6年計画）において位置づけた本学の重点のひとつ

■公募結果（文部科学省ホームページ）

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2023/mext_01231.html

（「地域中核 公募結果 4月21日」で検索もできます）

【事業概要】（文部科学省 令和4年度第2次補正予算事業：予算総額502億円、採択大学総数30校）

本事業は、国の研究力向上戦略のもと、大学間の連携等を通じて地域の中核・特色ある研究大学として機能強化を図る大学の取組みに対して、研究力をいかした国内外の社会課題解決やスタートアップを含めた新産業輩出など、イノベーション創出に必要な施設の整備を支援するものです。

【相原道子 横浜市立大学 学長コメント】

本事業に採択されたことを契機とし、多くの大学や企業とともに共同研究・産学連携研究が展開できる環境を整え、社会課題解決等に貢献できるイノベーション創出に努めます。

さらに、本学が「研究の横浜市立大学」として日本の研究力をけん引する研究大学群の一翼を担っていくために、さらなる高みを目指して学内をあげてしっかりと取組んでまいります。



横浜市立大学は、
様々な取り組みを
通じてSDGsの達成
を目指します。

